

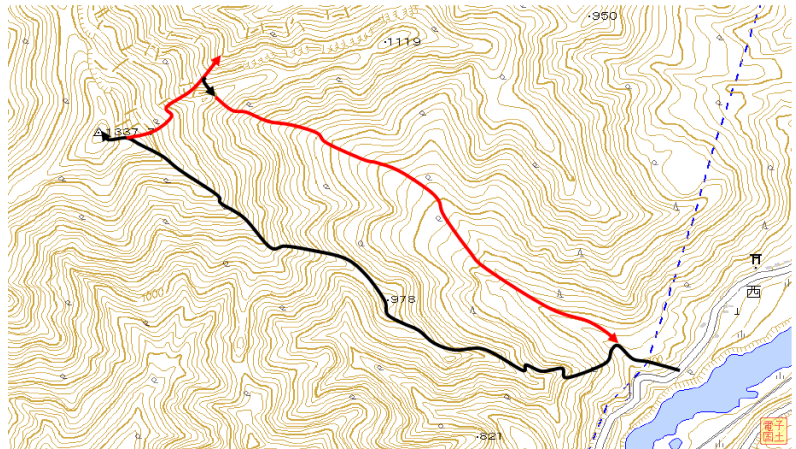
群馬 高埜山（たかとやさん、藤原湖右岸1337.7P）

中村

【日時】2012年2月25(日)

【メンバー】田辺 利(L)、中村、坂村、長谷川（純）、前田（工）、田宮（RSSA）

先週は越後の東谷山北面でピーカンパウダーを当て、気持ちが高ぶっていた。2匹目のドジョウを探しに、当初越後の阿寺山を計画したが、冬型が予報され、視界がないこと必至。最近地形図で見つけた、名もないピークに転進となった。当然Webでも



記録は見つからないが、宝台樹スキー場へと続く除雪された車道沿いのルートであるので、入山は容易。車道脇の駐車スペースに車をとめ出発。雪がちらちら降っている。

少し登ると、古い用水路が現れる。どうやら滑る予定の沢から集落へと水を引いているようだ。登りのルートであるが、このまま沢を詰めてもどこかで急斜面を登る必要がある。ここはセオリー通り、初めから尾根に取り付くのがよかろう。急な登りはごくわずかだ。

沢をスノーブリッジで渡り、尾根に取り付く。沢から見上げた時は雪がしっかり付いている感じであったが、いざ尾根に乗かかると雪が少なく藪が出ており、とても尾根通しで登れる感じでない。片斜面を利用して工君がラッセルするが、こちらも凸凹が多く、ルート取りに苦労している。

ようやく850mの尾根の頭に到着。地形図からは消されてしまったが、ここに送電線の鉄塔が建っている。ここで小休止。この先も藪が出ており、なかなか登りにくい。930Pを右から巻き鞍部に下りると、なぜかここから雰囲気が変わり、山スキーの好ルートという感じとなる。978Pも左から巻き鞍部で2回目の休憩。ミズナラ林が実に見事だ。

ここからは斜度も出てきて、ペースが上がり、一気に山頂に到達する。山頂直下は雪庇ができていたが、じゅんべえ君がスコップで切り崩して越えてくれた。

山頂の木に「高埜山」と書かれたピーク標がつけてあった（消えかかっている、見慣れない「埜」の字は、下山後判明）。これで、名もない「1337.7P」から名のあるピークに昇格。滑走開始。ピークの肩にあたる部分までの30mくらいは結構な急斜面なため、滑ると点発生

表層雪崩が発生する。スピードを出して滑れば、巻き込まれることはないが、気持ちの良いものではない。



肩までパウダー (坂村)



ラッセルパウダー (田宮)



半身浴パウダー (利香)

本当は沢型を滑ろうと思っていたが、雪がこんな状況なので、こもりとした尾根状を滑り様子を見る。こちらは斜度が緩いためか、雪崩は発生せず。しかし木の間隔が狭くなり、滑りにくくなってきた。右か左の沢型に入るしかなさそう。右の沢は狭く、表層雪崩が流れていくのが見えた。ここは左を行くしかなさそう。雪崩が怖いので、一人ずつスピードを落とさず斜度が緩む場所まで一気に滑ってしまうことにする。

上層はパフパフのパウダーなのだが問題がある。もともと硬い雪面の上に、昨日から降り始めた雪が20~30cmくらい積もっているのだが、その硬い面が形成されるときに、木から落ちた雪が凍り硬い塊となって点在している。一見しただけでは分からず、それに突っ込んでしまうとバランスを崩してしまうのだ。

そろそろ斜度が緩んだと思ったところで、片斜面に寄り停止する。沢型の真ん中では雪崩の流路となるので危険を避けるためだ。後続するメンバーにも注意を促すが、みんなすばらしいパウダーに興奮している。

さらにもう1ピッチ滑ったところで異変に気づく。腕につけたGPSが、予定のルートから300mくらい左にそれているのだ。登録してあるルートは、滑っても良い最も左のルート

を入れてあるはずなので、ここまですれることはルートミスをしている可能性が高い。



腰までパウダー (中村)



モーグラーパーパウダー (じゅんぺえ)



秘儀！板裏見せパウダー (工)

1:02/13)～駐車スペース(1:49)

他メンバーのGPSでも確認し、また沢の向きを考えても、どうやら宝川温泉に向かう沢に入り込んでしまったらしい。幸運にも100mくらい登り返せば、尾根の向こうの本来のルートに出られそうだったので、そうすることにした。

シールの付け外しが面倒だったので、つぼ足で登ったが、腰までラッセルとなってしまい、結局30分以上かかってしまった。

尾根からは少し急な斜面となるが、標高差は50mくらい。雪崩(点発生表層雪崩)しまくり斜面なので、スキーカットして、一通り表面の雪を落としてから、滑り込む。

斜度が落ちたところで、全員を待つ。ここからの斜面は、斜度が緩むものの、木無しの広い斜面となり、スキーも良く走るので、とても快適だった。

斜度がいよいよ緩むと、植林のカラ松林が出てくる。それを過ぎると、明瞭な沢型に入り込みしばらく行くと、朝渡渉したポイントが現れる。

【地形図】藤原、藤原湖

【行程】車道脇駐車スペース

(695m 7:30)～山頂(1337m

11:33/55)～登り返し開始(1080m

12:25)～尾根乗越(1165m